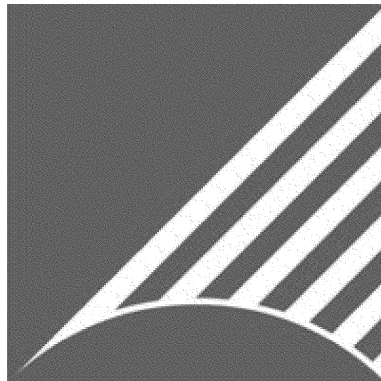


公益財団法人育てる会

2025年度 事業報告書
(令和7年度)

【2025年4月1日～2026年3月31日】



公益財団法人育てる会 東京本部
〒180-0006
東京都武蔵野市中町1-6-7 朝日生命ビル5F
電 話：0422-56-0151
F A X：0422-56-0351
<http://www.sodateru.or.jp>

目 次

1 農山漁村交流 自然・生活体験活動	 1
2 山村留学 育てる村学園	 4
3 国際交流事業	 7
4 青少年野外活動センターの運営	 8
5 ボランティアリーダーの養成	 9
6 調査・研究・啓発事業	
7 関連団体支援	 10
8 総務関連	 12
事業報告の附属明細書	 16

1 農山漁村交流 自然・生活体験活動

自然並びに生活文化が色濃く残る中山間地において、青少年に豊かな体験の蓄積を促すとともに、自立心や協調性、豊かな人間性等の「生きる力」を育むことを目的とした自然・生活体験活動を実施した。

(1) 学校休業期間（夏・冬・春・週末）を活用した自然・生活体験活動

① 夏休み自然体験キャンプ（2025/7/22～8/23）

- ・ 4月25日

育てる誌4月号及びホームページにて夏季活動の詳細を公開。

- ・ 5月2日～16日

上記日程で募集を実施し、期間内に募集人数に達しなかった7活動については、さらに追加募集を先着順で実施した。なお、キャンセル待ちやキャンセルも含めて、最終的に298名の申し込みがあった。

- ・ 5月21日以降

申込者に対して、参加確定またはキャンセル待ちの結果を配布するとともに、参加確定者には随時活動のしおり等必要な資料を配布した。

場所	活 動 名	日 程	募集 人数	参加 人数	対象年齢
八坂	やさか幼児低学年班	8/2～6	30	23(2)	年長～小2
	やさかやまびこ班	8/2～6	30	29(10)	小学生
	やさか山村生活（低学年）	8/8～13	15	10(2)	小1～小2
	（高学年）		15	14(4)	小3～中学生
	やさかチャレンジ班	8/8～13	30	38(14)	小3～中学生
	やさかファミリー班	7/26～29	25	12(10)	4歳～小3/保護者
	サバイバル班	7/26～30	15	8(6)	小5～中高生
売木	南信濃高原山村生活班	7/26～30	25	25(7)	小中学生
大岡	アルプスの里聖高原班	8/2～6	30	24(9)	小3～中学生
	アルプスの里聖高原長期班	8/8～18	25	25(12)	小3～中学生
富士見	ヨット・カヌー班	8/18～23	20	12(2)	小5～中高生
合 計					
4ヶ所	10活動		260	220(78)	

※参加人数の（ ）はキャンセル及びキャンセル待ち数

② 冬休み自然体験キャンプ（2025/12/26～30、2026/1/3～6）

- ・ 10月27日

育てる誌冬特別号及びホームページにて冬季活動の詳細を公開。

- ・ 10月31日～11月14日

上記日程で募集を実施し、期間内に募集人数に達しなかった2活動については、追加募集を先着順で実施した。なお、キャンセル待ちやキャンセルも含めて、最終的に140名の申し込みがあった。

- ・ 1 1 月 1 8 以降

申込者に対して、参加確定またはキャンセル待ちの結果を配布するとともに、参加確定者には随時活動のしおり等必要な資料を配布した。

場所	活 動 名	日 程	募集 人数	参加 人数	対象年齢
八坂	あづみ野山村生活班	12/26～30	20	15(2)	小3～中学生
	キッズスキー班		20	23(4)	小1～3
	アルペンスキー班		45	46(4)	小4～高校生
大岡	アルプスの里幼児低学年班		20	7(2)	年長～小2
	アルプスの里山村生活班		16	16(2)	小3～中学生
大町	上級スキー班	1/3～6	15	18(1)	小5～大学生
合 計					
3ヶ所	6活動		136	125(15)	

※申込人数の（ ）はキャンセル及びキャンセル待ち数

③ 春休み自然体験キャンプ（2026/3/26～30）

- ・ 1 月 2 8 日

育てる誌春特別号及びホームページにて春季活動の詳細を公開。

- ・ 2 月 2 日～1 6 日

上記日程で募集を実施し、期間内に募集人数に達しなかった3活動については、さらに追加募集を先着順で実施した。なお、キャンセル待ちやキャンセルも含めて、最終的に73名の申し込みがあった。

- ・ 2 月 1 8 日以降

申込者に対して、参加確定またはキャンセル待ちの結果を配布するとともに、参加確定者には随時活動のしおり等必要な資料を配布した。

場所	活 動 名	日 程	募集 人数	参加 人数	対象年齢
八坂	あづみ野春の山村生活班 低学年コース	3/26～30	10	2(3)	年長～小2
	高学年コース		10	14(5)	小3～中学生
	キッズスキー班		20	13(3)	小1～3
	アルペンスキー班		40	32(1)	小4～中高生
合 計					
1ヶ所	3活動		80	61(12)	

※参加人数の（ ）はキャンセル及びキャンセル待ち数

④ 週末自然体験キャンプ

（週末ミニ山村留学・・・年3回、子どものみ対象）

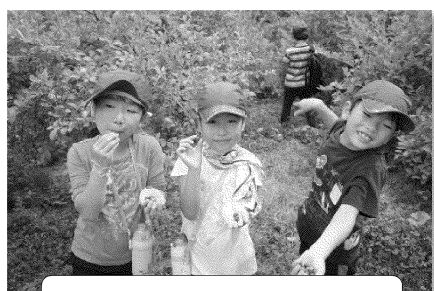
（週末ファミリーキャンプ・・・年1回、ファミリー対象）

- ・ 4 月 2 1 日以降

募集期間を設定し、ホームページ及びチラシ配布にて募集を実施した。なお、キャンセル待ちやキャンセルも含めて、最終的に45名の申し込みがあった。

場所	活 動 名	日 程	募集 人数	参加 人数	対象年齢
富士見	野菜植えとテイクアウト・諏訪湖でヨットカー	5/31～6/1	15	12(0)	小学生
	夏野菜の収穫とテイクアウト・飾り玉づくり	9/6～7	15	6(0)	
	里山ハイキング・サツマイ掘りと焼き芋づくり	10/18～19	15	10(0)	
	テイクアウト・諏訪湖でヨットカー	7/19～20	20	17(0)	ファミリー
合 計					
1ヶ所	4活動		65	45(0)	

※参加人数の（ ）はキャンセル及びキャンセル待ち数



夏季 やさかやまびこ班



冬季 キッズスキー班

(2) 活動説明の実施

参加者の利便性の向上を狙って、活動内容や施設案内、持ち物等の概要を説明する動画を作成して公開した。(夏冬春休み自然体験キャンプのみ)

(3) 参加者用ハンドブックの配布

参加を希望する児童生徒や保護者向けに、活動理念の理解促進等を図るための「参加の手引き」を配布した。

[配布部数] 年間 193部

(4) 地域児童生徒の参加促進

長野県大町市の参加費半額補助制度を活用し、下記の活動について地域児童生徒の参加促進を実施した。

[活動名・日程] やさかチャレンジ班・・・8/8～13、5泊6日

[募集人数・参加者数] 10名・6名

(5) 活動記録写真の配布

夏冬春休みの自然体験キャンプにおいては、活動報告として活動記録写真や概要をまとめ、ダウンロード形式にて配布した。

(6) 活動に必要な用品の調達及び頒布

体験活動に参加するうえで必要な野外活動用品について、調達と頒布を行った。

[用品注文件数] 個人9件、留学センター5件

[主な品目別在庫数]

(個)

軍手	9	三食器	5	マグカップ	7
レインスーツ	4	ヘッドランプ	5	サブザック	4
リュックサック	0	ナイフ	6	バードビルキャップ	29

2 山村留学 育てる村学園の運営

義務教育期間中の青少年が、自然環境豊かな農山漁村地域において、長期にわたって親元を離れ、集団生活やホームステイを行いながら、様々な自然・生活体験活動を行う中で、自らの可能性に目覚め、人生を嬉々として生きていくための礎を築くことを目的として、山村留学育てる村学園を運営した。

直営育てる村学園（長野県大町市八坂美麻）及び指導員派遣学園（長野県売木村、長野県長野市大岡、島根県大田市、群馬県高崎市、富山県南砺市）を運営し、山村留学生総数は100名で、2024年度と比べて2名増であった。学園毎の人数と前年度との増減をみると、八坂美麻30名（3名増）、大岡18名（3名増）、売木10名（1名減）、大田8名（5名減）、高崎23名（1名増）、南砺11名（1名増）という状況だった。

また、留学生の内訳は、男子55名（2名増）、女子45名（増減なし）、前年度からの継続留学生が54名（16名増）、新規留学生が46名（14名減）であった。

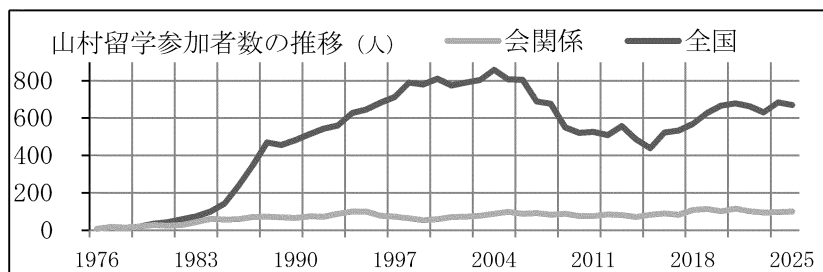
なお、対象とする学年は、八坂美麻と高崎が小4以上、大岡、大田、南砺が小3以上、売木が小2以上となっている。

【学年別男女別山村留学生数】

	小2	小3	小4	小5	小6	小学生	中1	中2	中3	中学生	合計
男子		1	3	6	11	21	14	13	7	34	55
女子	1		4	6	8	19	10	14	2	26	45
合計	1	1	7	12	19	40	24	27	9	60	100

一方、2025年度の全国の山村留学生数は671名で、当会の直営及び指導員派遣学園全体の人数が、全国の山村留学生数に占める割合は、約14.9%であった。

※2026/5/1 現在調べ



全国の留学生数に対する会関係留学生数の割合

	全国	会関係	%
2023	632	96	15.2
2024	684	98	14.3
2025	671	100	14.9

（最近3年間 単位：名）

（1）直営学園の概要

〔名称と所在地〕 八坂学園及び美麻学園

〒399-7301 長野県大町市八坂8594-ロ やまなみ山荘

〔参加者数〕 八坂学園（小学生5名、中学生12名） 計17名

美麻学園（小学生7名、中学生6名） 計13名



北アルプス登山



農作業体験

[学 年 構 成]

	小3 男 女	小4 男 女	小5 男 女	小6 男 女	中1 男 女	中2 男 女	中3 男 女	合計 男 女
八坂			2 1 1	3 2 1	8 4 4	2 2	2 2	17 11 6
美麻	1 1	2 2		4 1 3	1 1	4 2 2	1 1	13 5 8
合計	1 1	2 2	2 1 1	7 3 4	9 4 5	6 4 2	3 3	30 16 14

[通 学 校] 八坂学園（八坂小学校、八坂中学校） 美麻学園（美麻小中学校）

[受入家庭軒数] 八坂学園 4 軒、美麻学園 3 軒

[指導員他人数] 指導員 6 名（男 4 女 2）、指導補助 1 名（女）

調理員 1 名（男）、調理補助 1 名（女）

[主な年間活動]

2025/4	入園 きのこと植菌 農家対面式	2025/10	脱穀 アルプスマラソン 体験入園開始
5	田植え 親子行事 味噌仕込み	11	個人体験 収穫祭 面談
6	船舶活動 通学合宿 キャンプ	12	スキー 原木切り出し 野沢菜漬け 帰省
7	古民家キャンプ 湖水浴 帰省	2026/ 1	帰園 どんど焼き 薪割り スキー
8	帰園 登山 野菜の種まき 面談	2	スキー 炭焼き 雪中キャンプ 節分 面談
9	稲刈り 日本海活動 個人体験	3	スキー検定 大掃除 修園

（２）留学生募集にかかる事業

① 募集要項等の作成配布

8 月下旬より配布を開始し、年間 50 部を留学希望者及び資料請求者等に対して配布するとともに留学相談等に対応した。

② 映像資料等の蓄積

募集資料やホームページ、保護者への配信等に活用するため、活動毎に写真及び動画を蓄積した。

③ 学園サイトによる情報発信

[名 称] やまなみだより (<https://ymg.sodateru.or.jp/yamanami/>)

[更新頻度] 1 回/週 ※センター活動中のみ

[内 容] 野外活動や日々の生活の様子、食育内容、地域行事 他

④ 学園説明会の実施

[会場・回数] 東京会場 年 6 回 ※その他東京本部にて希望者に随時説明

[参加者数] 計 28 組（前年比 7 組増）

[内 容] ビデオ及びスライドによる説明、体験留学等の相談、質疑応答 他

（３）入園選考にかかる事業

① 留学希望者向け体験留学の実施

留学を希望する親子に対して、実際の留学生活や施設の見学、学校訪問等を目的とした体験留学を実施した。

[場 所] 八坂美麻学園やまなみ山荘

[時 期] 年 5 回、各回 1 泊 2 日
[参加者数] 計 19 組（前年度比 3 組減）
[内 容] 留学生生活紹介、通学体験、職員との懇談、質疑応答 他

② 入園親子面接会の実施

[会場・回数] 東京 4 回 ※この他オンライン面接あり
[参加者数] 計 13 組（前年度比 2 組減、合格 11、不合格 1、辞退 1）
[内 容] 筆記・・・体験歴チェック、教育測定、アンケート
面談・・・親子面接

（４）入園準備にかかる事業

① 入園前事前オリエンテーションの実施

[日時・方法] 3/1 オンライン方式
[内 容] 留学生生活や所持品等の説明、運営規則の再確認、質疑応答 他

（５）学園保護者会にかかる事業

① 保護者会の実施

各会場にて保護者との個別面談や保護者同士の情報交換及び懇親等を行った。また必要に応じて、学園来訪時やオンラインを活用して都度実施した。
[東京] 6/28 [名古屋] 7/13 [大阪] 7/12

（６）地域連携にかかる事業

① 受入家庭連絡会の実施

[場 所] 八坂美麻学園やまなみ山荘
[時 期] 年 8 回
[内 容] 各家庭の子どもの様子、指導方法や課題の共有、事務連絡 他

② 受入家庭拡充のための説明会の実施

地域住民向けの普及啓発チラシの作成配布や随時説明等を実施した。

③ 地域児童生徒及び住民を対象とした自然・生活体験の受け入れ

[主 催] 大町市教育委員会八坂公民館
[場所・時期] 八坂美麻学園・・・6/18～22（4 泊 5 日）
[参加者] 18 名（対象：八坂小 5・6、美麻小 5）
[内 容] 山村留学生との集団生活、集団登校、野外活動 他

④ 山村留学 O B 保護者と地域住民による「棚田の会」へのサポート

[場 所] 八坂美麻学園やまなみ山荘及び大町市切久保地区棚田
[日 時] 年 4 回（4/20、5/25、9/15、10/4）
[内 容] 施設や備品の提供、棚田管理のサポート 他

（７）学園視察等に関する対応

山村留学発祥の地として、下記の視察について受け入れを行った。
7/23・・・秋田県大仙市議会議員 10 名

（８）山村留学同窓会の管理運営

同窓会名簿の各種データ更新等の管理運営を行った。

（９）５０周年記念のつどいにかかる事業

① 事前準備幹事会の実施

〔日 時〕 年４回（５/24、6/13、9/23、11/27）

〔出席者〕 歴代保護者会世話人、山村留学ＯＢＯＧ

〔内 容〕 実施内容や広報周知方法の検討、寄付システムの構築 他

② ５０周年記念のつどいの開催

〔日 時〕 2026/1/24（土）13:30～17:30

1/25（日）10:00～12:00

〔場 所〕 大町市文化会館エコホール及びサン・アルプス大町、八坂公民館

〔共催等〕 共催：大町市山村留学推進協議会 後援：大町市

〔内 容〕 第一部 ５０周年を語るつどい（1/24 13:30～15:00）

現役留学生による民舞・和太鼓

来賓祝辞（長野県知事 阿部守一氏、大町市長 牛越 徹氏）

５０年の足跡をたどるスライド及びひとことメッセージ上映

受け入れ家庭への感謝状贈呈

未来に向けたトークセッション

登壇者：理事 明石要一氏、修園生（眞山 真氏、伊藤久乃氏）

同窓会からの提言

第二部 交流懇親会（1/24 15:30～17:30）

オプション企画（1/25 10:00～12:00）

和太鼓体験とそば打ち体験

〔参加者〕 第一部 ３１４名 第二部 ２７０名 オプション企画 ２８名

※来賓及び役員・職員を除く



第一部 現役生による民舞



第二部 交流懇親会

３ 国際交流事業

青少年期において、諸外国の自然や異文化にふれ、また当該諸国の青少年と交流することにより、我が国における自然や生活文化を再発見し、日本人としてのアイデンティティを確立するための礎とすることを目的として、国際交流事業を実施した。

(1) 日タイ青少年国際交流プログラム2025の実施

① 事前オリエンテーション

〔場 所〕 東京本部及びオンライン

〔日 時〕 年2回(6/1、6/29)

〔内 容〕 自己紹介、活動紹介、持ち物について、現地交流校の紹介、質疑応答 他

② 派遣活動

〔日 時〕 7/22～8/2 11泊12日

〔場 所〕 タイ王国(バンコク市、ラチャブリ県、アユタヤ遺跡 他)

〔参加者〕 中学生15名、高校生5名 計20名(男子11名、女子9名)

〔内 容〕 有機農業体験、ホームステイ、現地校訪問及び授業体験と交流活動
水牛学校体験、保護ゾウの世話体験、世界遺産見学 他



タイの青少年との交流



水牛の耕作体験

4 青少年野外活動センターの運営

青少年体験活動ならびに地域間交流活動及び生涯学習活動の拠点として、青少年野外活動センターを設置・運営した。

(1) やまなみ山荘(〒399-7301 長野県大町市八坂8594-ロ)

【利用状況】 合計 230日 延べ 8,973名

主な属性	主な利用内容	日数	延べ人数
山村留学生及び指導者	山村留学活動	170	6,460
山村留学生保護者	保護者来園行事	26	922
体験留学参加者	山村留学に向けた体験入園	8	90
短期活動参加者及びリーダー	自然体験キャンプ	26	1,501

(2) すずらん山荘(〒399-0212 長野県諏訪郡富士見町立沢字後別当5015)

【利用状況】 合計 49日 延べ 346名

主な属性	主な利用内容	日数	延べ人数
活動参加者及びリーダー	夏季及び週末自然体験キャンプ	14	242
山村留学生及び指導員	山村留学活動、畑作業 他	35	104

5 ボランティアリーダーの養成

青少年健全育成における生活・自然体験活動や、生涯学習活動における活動リーダーの量的拡大及び資質向上を目的として、募集活動や交流会を実施した。

(1) 概 要

[登録者数] 716名（男性267名、女性449名）

※2026/3/31現在

※うち2025年度内新規登録者79名

[所 属] 高校生、大学生、社会人

[年齢構成] 10代…79名、20代…360名、30代…204名
40代以上…73名

(2) 期間別参加者数

期間	延べ人数	期間	延べ人数
夏季	47名	春季	18名
冬季	27名	週末	12名

合計 104名

(3) 活動前説明会の実施

[東 京] 夏季活動 7/16、春季活動 3/16

[場 所] オンライン形式

[内 容] 活動理念、活動内容、今後の予定と注意点 他

(4) インターネットを活用した登録者への情報配信

[媒 体] LINE、Facebook、X（旧twitter）、メール配信

[内 容] 夏冬春や週末のボランティア情報 他

(5) 活動参加時における誓約書の提出

ボランティア参加者による様々な反社会的行為が問題化しているため、登録時の情報精査を徹底するとともに、参加するにあたっては反社会的行為を行わない旨の誓約書の提出を義務付けた。

(6) 名簿管理及び各種冊子等の発送

6 調査・研究・啓発事業

青少年期における自然・生活体験活動の重要性並びにその教育的効果を広く世に訴え、本会の活動理念の普及を目的として、普及啓発事業を実施した。

(1) ホームページ及びSNSを活用した情報発信

[内 容] 事業概要、活動報告、時宜にかなう情報の提供 他

[サ イ ト] 公式ホームページ (<https://www.sodateru.or.jp>)

Facebook (<https://www.facebook.com>)

X（旧twitter） (https://twitter.com/sodateru_kai)

Instagram (https://www.instagram.com/sodateru_kai)

(2) 冊子「育てる」の発刊

※日本宝くじ協会助成事業

[概要] 年8回発行、A5版、表紙裏表紙フルカラー、本文白黒

[内容] 家庭教育及び社会教育全般、実践活動案内、教育情報、学園情報 他

[配布先] 年間の発送先別部数 (冊)

送付先	部数	送付先	部数	
個人	9,132	会員等	1,974	
図書館	8,518	青少年団体等	352	
公共施設	1,016	国関係	256	
学校	1,704	地方自治体	1,048	合計 24,000

7 関連団体支援

山村留学や農山漁村交流自然・生活体験活動及び都市と農山漁村交流活動の推進を図るため、当該事業ならびにその普及を目的した関連する自治体・団体の実施する事業の、企画指導・運営・管理について支援事業を実施した。

(1) 山村留学実施自治体への指導員派遣及び農山漁村交流活動の企画指導

① 山村留学

名 称	場 所	期	留学生数	派遣指導員数
大岡ひじり学園	長野県長野市大岡中牧698-1	29	18	4
売木学園	長野県下伊那郡売木村45-551	43	10	1
三瓶こだま学園	島根県大田市山口町山口1694	22	8	4
南砺利賀みらい留学	富山県南砺市利賀村坂上18	5	11	4

② 農山漁村交流活動

指導員派遣自治体のうち、島根県大田市及び富山県南砺市において、学校休業期間を利用した自然体験活動の企画指導を実施した。

ア 島根県大田市

活動名		日程	参加人数
夏	夏の短期山村留学（長期コース）	7/25～8/5	21
	（自然体験コース）	8/7～11	26
冬	冬の短期山村留学	12/26～30	19
週末	第1回 食文化活動	6/14	10
	第2回 釣り活動	10/13	12
	第3回 ノルディックスキー活動	1/11	5
PTA 共催	第1回 古民家生活活動	6/21	20
	第2回 キノコ狩り活動	10/26	4
	第3回 味噌づくり活動	1/10	3
	第4回 アルペンスキー活動	1/31	15

イ 富山県南砺市

活動名		日程	参加人数
夏	夏の体験キャンプ(ベーシック班)	7/27～8/1	9
	(アドバンス班)	7/27～31	3
冬	冬の体験キャンプ	12/25～28	9
週末	南砺市内募集活動①	6/7～8	17
	南砺市内募集活動②	9/6～7	15
	南砺市内募集活動③	11/22～23	14
	南砺市内募集活動④	2/14～15	15

(2) 群馬県高崎市「くらぶち英語村」への指導員派遣及び企画指導

① 概要

[名称と所在地] くらぶち英語村 (〒370-3405 群馬県高崎市倉渕町川浦1414-1)

[指導員他数] 24名 日本人9名、アメリカ人5名、カナダ人1名
中国人1名、イギリス人2名、調理員6名

② 通年コース

[参加者数] 小学生9名、中学生14名 計23名(第8期生)

[通 学 校] 倉淵小学校、倉渕中学校

[内 容] 全寮制生活の中で、生きた英語の習得を目指すとともに、地元小中学校に通学しつつ、休日等を利用して様々な自然体験活動を実施。

[募集関係] 事前説明会 動画配信により随時実施

体験留学 年3回 計54名

(11/15～16、11/22～23、11/29～30)

親子面接会 年2回 計54名 (12/13、12/14)

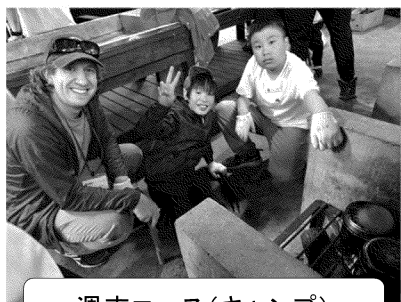
③ 短期コース

活動名		日程	参加人数	募集人数
夏	短期Aコース	7/22～25	22	各回 20
	短期Bコース	7/29～8/2	19	
	短期Cコース	8/3～8	20	
冬	冬短期コース	12/26～29	22	

④ 週末コース

活動名		日程	参加人数	募集人数
第1回	温川1泊キャンプ	5/17～18	19	各回 20
第2回	温川1泊キャンプ	6/14～15	20	
第3回	温川1泊キャンプ	6/28～29	21	
第4回	温川1泊キャンプ	7/5～6	21	
第5回	英語村1泊キャンプ	7/19～20	20	
第6回	英語村1泊キャンプ	8/23～24	22	

活動名	日程	参加人数	募集人数
第7回 温川1泊キャンプ	9/6～7	22	各回 20
第8回 温川1泊キャンプ	10/4～5	17	
第9回 野外調理と英語ゲーム	1/17～18	19	
第10回 野外調理と英語ゲーム	2/21～22	18	



週末コース(キャンプ)



夏短期コース(ハイキング)

(3) NPO法人全国山村留学協会への活動支援

全国24地域の山村留学実施団体が加盟するNPO法人について、以下のような活動支援を実施した。

- ① 事務局（東京事務所）運営と電話及び来所相談への対応等
- ② ホームページ（<https://www.sanryukyo.net>）の管理運営
- ③ 全国の山村留学等国内留学の実態を把握するためのアンケート調査の実施
- ④ 傷害及び賠償責任保険の事務担当

8 総務関連

(1) 理事会・評議員会の開催

- ① 理事会
 - 【第1回】 [日 時] 2025/6/4
 [場 所] 日本青年館会議室及びリモート
 [出席者] 理事5名、監事2名
 [内 容] 2024年度事業報告及び決算報告
 理事候補者の承認について
 評議員会開催日時及び議案の決定 他
 - 【第2回】 [日 時] 2026/3/2
 [場 所] 日本青年館会議室
 [出席者] 理事7名、監事2名
 [内 容] 2026年度事業計画及び収支予算
 資金調達及び設備投資の見込みについて
 2026年度常勤役員報酬について 他

- ② 評議員会 【第1回】 [日 時] 2025/6/26
 [場 所] 東京本部及びリモート
 [出席者] 評議員7名、理事1名、監事1名
 [内 容] 2024年度事業報告及び決算報告
 2025年度事業計画及び収支予算 他

- ③ 役員合同活動報告会 [日 時] 2025/12/1
 [場 所] 主婦会館プラザエフ3F ソレイユ
 [出席者] 評議員7名、理事7名、職員2名
 [内 容] 2025年度事業執行状況報告 他

(2) 会員組織の運営及び整備並びに情報管理

<会員種別と人数> 【普通会員】 正 会 員…169世帯(634名)
 誌友会員… 9世帯(32名)
 同窓会会員…1,201名
 【特別会員】…426名
 【賛助会員】…1企業 ※2026/3/31現在

(3) 役職員の構成

	常勤	非常勤	合 計
評議員	0	7	7
理 事	3	4	7
監 事	0	2	2
合 計	3	13	16

(4) 本部及び支部の配置人数

	常勤	非常勤	合 計
本 部	4 (2)	1	5 (2)
長野県大田市 八坂美麻学園	7	1	8
長野県長野市 大岡ひじり学園	4 (1)	1	5 (1)
長野県売木村 売木学園	1	0	1
島根県大田市 三瓶こだま学園	4	0	4
群馬県高崎市 くらぶち英語村	17	7	24
富山県南砺市 南砺利賀みらい留学	4	0	4
合 計	41 (3)	10	51 (3)

※ () 内は常勤理事

(5) 職員研修にかかる事業

① 職員を対象とした研修会の実施

職務に対する必要な知識や野外活動スキルを身につけ、職員間の情報共有を密にするための研修会を実施した。

[東 京] 5/13～14…職員間の情報共有、年間計画調整、理事講話及び懇談交流会等

[群 馬] 9/30～10/2…夏季行事反省会等

[東 京] 1/23…常務理事及び主任副主任職員による事業会議

（６）職員採用にかかる事項

① 採用説明会の実施

- ア．２０２６年度採用に向けた説明会
年間５回の説明会をオンラインで実施した。
(4/21、5/2、5/7、6/11、8/13)
- イ．２０２７年度採用に向けた説明会
年間１回の説明会をオンラインで実施した。
(3/3)

② 採用試験の実施

- ２０２６年度採用に向けた採用試験を下記の通り実施した。
〔願書提出人数〕 ７名（うち採用内定者３名）
〔一 次 試 験〕 書類選考
〔二 次 試 験〕 適性検査及び小論文
〔三 次 試 験〕 担当者及び代表理事面接

③ 内定者研修の実施

- ２０２６年度採用内定者に対して、下記の通り研修を実施した。
〔日時・場所〕 3/9～11 八坂美麻学園及び大岡ひじり学園
〔内 容〕 会の理念や事業内容、職務についての事務確認 他

④ 採用情報発信の新たな取り組み

- ア．Instagramを活用した配信の実施
指導員の日常や仕事内容、若手職員のインタビュー等の動画配信
採用説明会の案内 他

（７）各種事業推進のための寄附活動にかかる事項

① リサイクル品を活用した寄附

- 嵯峨野株式会社が運営するリサイクル募金「きしゃぽん」を活用し、寄附活動の促進を図った。
〔内 容〕 寄附者がリサイクル品（本、DVD、切手、はがき等）を嵯峨野株式会社に送ることで、その査定額が育てる会に寄附される仕組み
〔寄付金総額〕 7,655円（6件）

② 寄附決済システム「コングラント」を利用した寄附サイトの運営

- 〔寄 附 者〕 個人２０名
〔寄附金総額〕 254,000円

③ その他の寄附実績

- 〔寄 附 者〕 個人１０名及び４団体・法人
〔寄附金総額〕 717,676円

（８）その他法人運営全般にかかる事項

- 法人の運営体制の充実を図るための取組

ア. 「役員等合同活動報告会」（12月開催）

外部理事・監事の役割を全うするための一助として、理事会ならびに評議員会の定時開催のほかに合同活動報告会を設け、外部を含めた理事・監事ならびに評議員、さらには部長クラス職員、主任クラス職員が一堂に会し、法人の活動報告、情報提供、意見交換を行った。

イ. 「月例監査」（毎月1回実施）

理事及び使用人が監事に報告するための体制として、毎月1回、定期的に活動および会計報告を行った。

ウ. 「全体連絡会」（5月開催）

代表理事ならびに常務理事と使用人たる全職員が一堂に会し、組織全体の目標や活動方針、事業計画、課題等を共有し、円滑な意思疎通を図ることにより、ガバナンスの実効性を高める場となった。

エ. 「日本版 DBS 導入の検討」

不祥事の予防を期すことを目的に「こども性暴力防止法（2026年12月25日施行予定）」に基づく日本版 DBS 導入を検討すべく、12月4日長野県庁主催のオンライン会議に参加。

事業報告の附属明細書

2025年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当するものではありません。

公益財団法人 育てる会